

運動BUB

運動をベースとした行動変容を
企業と大学が手を取ってオフィスから
世界を変える

TOKYU SPORTS

OASIS



株式会社東急スポーツオアシス（主幹企業）
医工学研究科 永富 良一 教授

■ 概要

- ・運動BUBでは、労働人口減少が進む中、今後、各企業は健康経営を進めるにあたり、就労者のオフィス内での座っている時間に着目し、「スマート椅子」でのセンシングから、企業の環境改善、従業員の健康保持増進活動を日常の椅子に座る長さ、状態からその方に応じた運動、ストレッチなどを促す提案（WEBGYMを活用）方法の提供スキーム、サービスパッケージ開発を進める。また、WEBGYMをプラットフォームとして、運動×各BUBとの連携も進めていき、オフィス領域外への広がりも検討していく。

■ 社会実装に向けた企業戦略および成果等

- ・社会実装に向けて、椅子の荷重変化から筋力は運動機能、覚醒状態を推測し、運動を促し、利用者（就業者）に最適な運動方法をWEBGYMと連携し提供する。今後オフィスIoTが進む中、各サービスとも連携させた、空間づくりから含めたサービス開発を進める。
また、座位時間の計測から集中度や疲労度の評価軸の研究も進めていく

